

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-2	4-1-2	事業名	“ひかりの”元気の杜推進事業				
担当	都市局開発事業部管理課 武市 211-2721		環境局みどりの推進部みどりの推進課 長谷川 211-2522					
全体計画								
事業内容	都心からわずか7kmに位置し、モエレ沼公園が近接するなどの恵まれた立地条件を生かした東雁来第2地区(愛称 ウェルピア”ひかりの”)において、土地区画整理事業による公共施設整備と持続可能なまちづくりの着実な進展を図る。			<年度別の事業内容>				
	特に平成19年度から平成22年度においては、サッカー場2面を備えた東雁来公園等の整備を核に、「みどり豊かな美しい街づくり」を進める。			平成19年度 ・地区公園実施設計 平成20年度 ・地区公園整備 平成21年度 ・地区公園整備、近隣公園基本設計、街区公園整備 平成22年度 ・地区公園整備、近隣公園実施設計、街区公園整備				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	地区公園実施設計 地区公園(東雁来公園 7.63ha)の実施設計を行った。 主要施設 ・サッカー場 人工芝2面 ・便益施設 車椅子対応トイレ2か所、駐車場など ・休養施設 パーゴラ、ベンチなど ・遊戯施設 プレイロット、冒険遊び場など ・パークゴルフコース 9ホール ・周遊園路			地区公園整備 地区公園全体7.63haのうち、平成20年度はサッカー場2面の整備を行う。 施工面積 2.9ha ・敷地造成工 切盛土 ・園路広場工 人工芝舗装(18,400㎡) ・給水工 散水栓、水飲台 ・雨水排水工 暗渠管、U字トラフ ・管理施設工 樹脂ネット				
達成目標の状況								
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
土地活用率(地区内において宅地建設など土地の利用が図られた割合)			19%	22%	25%	28%	30%	30%
公園・緑地面積			1.4ha	1.4ha	2.4ha	6.3ha	6.3ha	10.0ha
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
市民との連携、市民参加 地区公園の整備を進めるにあたっては、計画段階から周辺町内会との意見交換会や計画内容を記載したニュースレターの発行を通じて、市民意見の反映や情報提供を行った。								
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-3-2	4-1-2	事業名	“ひかりの”元気の杜推進事業		
評価(成果)			課題			
<p>平成19年度に地区公園の実施設計は計画どおりに完了した。</p> <p>東雁来第2土地区画整理事業においては、平成19年度に計画した道路整備や宅地造成などの面整備を完了させた。また、街づくりのソフト面においては、「みどり豊かな美しい街」を実現するためのプランの策定、広報展開のためのパンフレットや広報用映像等の制作を行った。</p> <p>これらの公園整備や道路整備などのハード面、街づくりを推進するためのプランの策定などのソフト面、の両面から街づくりを着実に進めている。</p>			<p>地区公園は平成20年度から整備を開始するが、ウェルビア“ひかりの”の「水と緑」のまちづくりテーマを具体化する拠点施設として、他の公園や緑地とのネットワークを図りながら着実に整備を進める必要がある。</p> <p>東雁来第2土地区画整理事業による街づくりにおいては、保留地の確実な処分や、地区内の重点整備地区の土地利用の具体化が、今後の事業の執行や街づくりの推進に大きく影響することになる。</p> <p>そのためにも、街づくりを推進するための施策の実施や積極的な広報展開、利便施設等の誘致や交通アクセスの早期改善が求められている。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>地区公園の整備は平成20年度から平成23年度まで継続して行い、引き続き近隣公園(雁穂公園 2.0ha)や街区公園、緑地の整備も併せて行なうなど、平成29年度の事業終了まで、「みどり豊かな美しい街」の拠点となる公園緑地の整備を着実に進めていく。</p> <p>また、東雁来第2土地区画整理事業による街づくりにおいては、今後も、道路や宅地造成などの面整備が進む。そして、平成23年度からは事業推進の要となる重点整備地区内の保留地分譲を行う計画となっており、「みどり豊かな美しい街」の実現に向けて着実な事業の執行や施策の展開を図っていく。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	14,000	575,000	379,900	508,100	1,477,000
	財源内訳					
	国・道支出金	7,000	250,000	117,000	175,000	549,000
	市債	6,000	270,000	217,000	279,000	772,000
予算	事業費	14,000	415,000	-	-	429,000
	財源内訳					
	国・道支出金	7,000	200,000			207,000
	市債	6,000	187,000			193,000
実績	事業費	14,000	-	-	-	14,000
	財源内訳					
	国・道支出金	7,000				7,000
	市債	6,300				6,300
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				29.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
<p>(全体)</p> <p>地区公園整備については、当初計画では平成20年度にサッカー場2面と周辺施設を含む南側エリア3.6haの整備、平成22年度に北側エリア4haの整備を予定していたが、北側エリアの基盤造成の進捗と地盤安定を考慮し、南側エリアは平成20年度～21年度、北側エリアは平成22年度～23年度に整備スケジュールを変更することとした。</p> <p>[19年度] 計画との差異はない。</p> <p>[20年度] 南側エリアの造成スケジュールを平成20年度～21年度の2ヵ年としたため、平成20年度は事業費が減額になった。</p>						